



久保の桜

長井市立伊佐沢小学校
学校だより
令和3年11月30日

学校教育目標
あいことば

ふるさとを愛し 心豊かでたくましい 伊佐沢っ子
「明るくあいさつ」 「進んで勉強」 「楽しく運動」

地区文化祭で披露「少年少女念佛踊り」

11月7日（日）今年度も地区文化祭の日に、伊佐沢小学校少年少女念佛踊りを披露させていただきました。晴天のもと、たくさんの保護者や地域の方々に見守られ、精一杯の踊りをお見せすることができました。子どもたちにとって、1年間にわたる練習の成果を発表することができたこと、また、たくさんの方からおほめの言葉をかけていただけたことがうれしく、笑顔あふれる一日となりました。

現在、新たに踊りに加わる3年生に、各パートごとの引き継ぎが行われています。中間休みやクラブ活動の時間を使って熱心に、時には厳しく上級生が教えている姿に、伊佐沢っ子の温かくも凛とした心意気を感じます。以下に、引継ぎ中のパートを紹介します。

なお、説明の文章は「念佛踊り創設30周年記念誌」からの引用です。



太鼓（たいこ）

大太鼓・小太鼓があり、しなやかに「ばち」をさばく姿が踊りの花形である。



横笛（よこぶえ）

笠をかぶって女装する。太鼓とともに踊りの中心に位置している。



行司（ぎょうじ）

相撲の行司であり、軍配をさばきつつ、列の先頭に立つ。



鳥毛（とりげ）

印半纏（しるしばんてん）を身に着け、男衆姿で鳥毛棒という武器を模したものを持つ。



相撲（すもう）

化粧回しを締め、堂々と踊る。大名のおかえ力士を意味している。



奴振り（やつこぶり）

どーらん（物入れ）を腰に下げ、はさみ箱を肩にして踊る。箱の中身は衣服や用具といわれる。



枕打ち (まくらうち)

小豆の入った朱塗りの箱を両手に持ち踊る。大行列のお茶やお弁当を運んだといわれる。



花笠 (はながさ)

振袖、白足袋、赤草履に花笠を持って踊る姿は、腰元という名にふさわしく、歌舞伎に似る。



四ツ竹 (よつたけ)

花笠と比較して地味な振袖を身に着け、四つの竹でできた楽器を鳴らす。



道心坊 (どうしんぼう)

黒い衣をまとった僧が、鐘をたたいておかしく踊る。仏教を広める手段として踊っている。



ここまで支えてくださった念佛踊り保存会、お師匠様の皆様。着付けを担当して下さった梅津美江さん・布施安由美さん。物心両面で支えていただきました

コミュニティセンター館長様はじめスタッフの皆様。そして地域や保護者の皆様に感謝申し上げます。これから児童数が減り、行事の継続には様々な課題が出てくることも考えられます。引き続きのご支援・ご指導をお願いいたします。



6年生・修学旅行に行ってきました

感染拡大のピークが去った11月1日・2日に、県内をめぐる形で修学旅行を実施することができました。羽黒山の五重塔見学や最上川の舟下りなど、あらためて山形県の歴史と伝統、豊かな自然や文化を学ぶ旅行になりました。たくさんのお見学や体験学習と、おなか一杯のごちそうを食べて、6年生にとって楽しく思い出に残る2日間となりました。

プロのピアノ演奏を鑑賞しました

11月11日(木)長井市民文化会館の事業で、プロのピアノ演奏家、齋藤友佳先生と布施朱倫先生においでいただき、ピアノの生演奏をお聞きしました。クラシックからアニメソングまで、息の合った二人による素晴らしいピアノの連弾を披露いただき、芸術の秋にふさわしいひと時を過ごしました。



12月の予定

6日(月) 弁当の日(5・6年生)
9日(木) 自由参観日・なわとび大会
16日(木) 全校計算テスト

17日(金) ALL ENGLISH DAY
23日(木) 2学期終業式
24日~1月5日 冬休み 1月6日(木) 始業式

